

## 【 検査 】

479  $\beta_2$ -マイクログロブリン（尿）（ファンコニー症候群等）の算定について

《令和7年3月31日》

## ○ 取扱い

次の傷病名に対するD015「10」 $\beta_2$ -マイクログロブリン（尿）の算定は、原則として認められる。

- (1) ファンコニー症候群
- (2) 急性尿細管壊死

## ○ 取扱いを作成した根拠等

$\beta_2$ -マイクログロブリン（尿）は低分子のため容易に腎糸球体で濾過されるが、そのほとんどは尿細管で再吸収される。尿細管に障害があると再吸収量は減少し、尿中排泄量が増加する。このため、上記傷病名に対しては尿細管障害の指標となる。

以上のことから、尿細管機能障害を主症状とするファンコニー症候群、急性尿細管壊死に対する当該検査は、原則として認められると判断した。